

## 持続可能な木質原材料調達

### 日本製紙グループの木質原材料調達のポイント

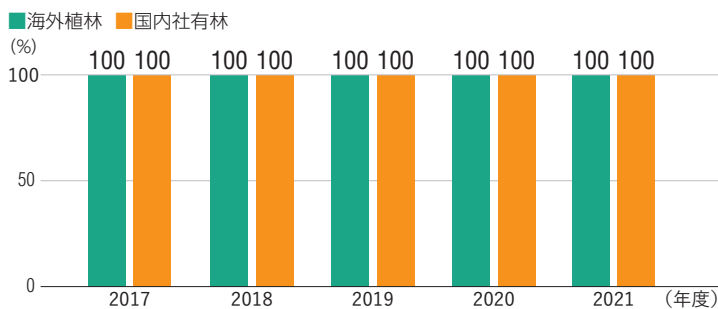
- 1) 持続可能であること（サステナビリティ）
- 2) 木材の出所が明らかであること（トレーサビリティ）
- 3) きちんと説明ができること（アカウンタビリティ）

### 持続可能な木質原材料調達

#### — 自社林からの調達

- 適切な計画と管理の上で調達しています。
- 持続可能性について、第三者認証である森林認証を取得しています。
- 海外植林事業の推進とともに国内社有林の活用を進め、自社資源利用による安定調達を図っています。

#### 自社林の森林認証取得率



森林認証:

<https://www.nipponpapergroup.com/csr/forest/sustainability/certification/>

#### — 外部からの調達

- サプライチェーン・マネジメントを強化し、木質原材料が産出される森林まで遡って確認することのできる調達体制を構築しています。
- 木質原材料の調達が適切に行われていることを確認するツールとして森林認証制度を活用しています。

#### — サプライチェーン・マネジメントの強化

- サプライヤーのリスク評価として以下を実施しています。
  - ▶ 新規のサプライヤー：現地視察およびサプライヤーアンケート（環境・社会への配慮を含む）の実施により、当社グループの調達方針に見合うか、またリスクの有無を確認した上で取引開始
  - ▶ 既存のサプライヤー：定期的な現地視察および毎年のサプライヤーアンケート（環境・社会への配慮を含む）の実施などでリスクの有無を確認した上で取引継続
- サプライヤーとの契約時には森林認証の取得状況と資源背景を確認しています。
- リスクが高いと判断したサプライヤーには是正措置を講じます。

## 一 調達に関わる従業員のスキルアップ

当社では木質原材料の調達に関わる従業員に対し、持続可能な資源調達に関する社内研修を実施し、全員<sup>※</sup>が受講しています。

※ 18名（2022年4月1日時点）

## 違法伐採材の排除

- 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシアは、調達する木質原材料の合法性を確認することを目的に「合法証明デューデリジェンスシステムマニュアル」を策定し、国内外から調達する全ての木質原材料に対してデュー・デリジェンスを実施しています。
  - ▶ 新規の取引先：取引開始時に実施
  - ▶ 既存の取引先：毎年定期的に実施
- 2021年度も全ての木質原材料についてデュー・デリジェンスを実施し、合法性を確認しています。

→ 合法証明デューデリジェンスシステムマニュアル：  
<https://www.nipponpapergroup.com/csr/DDmanual.pdf>

## 一 クリーンウッド法への対応

当社と日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、日本製紙木材は「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」（通称：クリーンウッド法）で定められた第一種、第二種登録木材関連業者として登録し、同法に基づき、対象物品の合法性を確認しています。

### クリーンウッド法の登録内容

登録事業者名	登録番号	有効期間	登録実施機関	対象物品
日本製紙	JIA-CLW- I, II 17024号	2018年3月19日～ 2023年3月18日	一般財団法人 日本ガス機器検査協会	木材パルプ、コピー用紙、フォーム用紙、インクジェットカラープリンター用塗工紙、塗工されていない印刷用紙、塗工されている印刷用紙、ティッシュペーパーおよびトイレットペーパーのうち、木材パルプを使用したもの
日本製紙パピリア	JIA-CLW- I, II 19001号	2019年4月26日～ 2024年4月25日		
日本製紙クレシア	JIA-CLW- I, II 19002号	2019年4月26日～ 2024年4月25日		
日本製紙木材	JPIC-CLW- I, II 54号	2018年7月6日～ 2023年7月5日	公益財団法人 日本合板検査会	丸太、ひき板および角材、単板および突き板、合板・単板積層材および集成材、木質ペレット・チップ状または小片状の木材

## 木質原材料調達に関するアクションプラン

当社グループは「原材料に関する理念と基本方針」に基づき、CSR調達を実践していくために、アクションプランを制定・実行しています。

→ 木質原材料調達に関するアクションプラン：  
<https://www.nipponpapergroup.com/csr/forest/sustainability/actionplan/index.html>

持続可能な木質原材料調達のごくみ

「原材料調達に関する理念と基本方針」		
木質原材料調達に関するアクションプラン		
	国産材	海外材
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グリーン購入法での政府調達による違法伐採対策の取り組みの中で林野庁が定めた「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」で示された「森林・林業・木材産業関係団体の認定を得て事業者が行う証明方法」に基づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●林野庁が定める「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」で示された「個別企業等の独自の取組による証明方法」で対応</li> <li>●日本製紙連合会が定めた「違法伐採対策に対する日本製紙連合会の行動指針」に基づく</li> </ul>
実施内容	全体	●クリーンウッド法に基づき定めた合法証明DDS（デューディリジェンスシステム）による確認
	合法性・トレーサビリティの確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>●林野庁が定めた「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に基づくトレーサビリティの確保</li> <li>●森林施業に関連する法規とその順守、樹種、森林認証の取得の有無などの基本情報を確認</li> </ul>
	持続可能性の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>●船積み単位で「木材の伐採地域、サプライヤーが関連法規を順守し違法伐採材が含まれていないこと」を、関連書類で確認</li> <li>●駐在員による調査、確認</li> <li>●アンケート調査、現地ヒアリング（森林施業に関する法規とその順守、樹種、森林認証の取得の有無などの基本情報を確認し、トレーサビリティの充実を図っている）</li> </ul> <p>*2021年度に購入した輸入チップ、パルプについて、各サプライヤーからのアンケート調査と船積書類などにより違法伐採による材を含んでいないことを確認済み</p>
第三者監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サプライヤーへのアンケート調査*（年1回）や現地でのヒアリングなどにより、下記の事項を確認                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権や労働についての方針あるいはそれらに対処するシステムの確立（労働者が団体交渉権と自由な結社権を持っていること、強制労働・児童労働・差別がないこと、健康と安全が守られていること、先住民族の権利に配慮していること）</li> <li>・公正な取引の実施</li> <li>・社会貢献活動を通じた地域社会との融和</li> <li>・環境への配慮</li> <li>・生物多様性に配慮した森林施業の実施</li> <li>・生物多様性調査の実施状況</li> <li>・森林認証の取得状況</li> </ul> </li> <li>※輸入チップ、国内外パルプを対象</li> <li>●日本製紙グループの調達方針をサプライヤーアンケート（日英）に記載することで浸透</li> </ul>	
実績（2021年度）	全サプライヤー（チップ357件、パルプ7件）で上記アクションプランへの適合を確認	全サプライヤー（チップ22件、パルプ13件）で上記アクションプランへの適合を確認

第三者による持続可能な森林経営の検証

森林認証制度：持続可能な経営がされている森林を第三者機関が認証する制度

日本製紙では

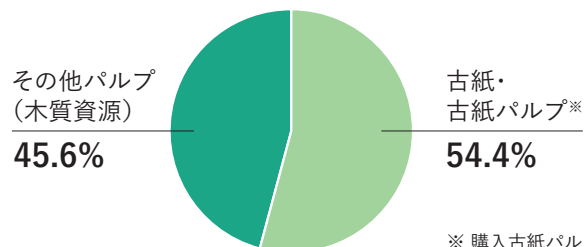
- 国内・海外全ての自社林で森林認証を取得
- 木質原材料の全てがFSC®またはPEFCで認められた材（森林認証制度におけるFM認証<sup>※1</sup>を取得した森林から産出した材もしくはCoC認証<sup>※2</sup>においてリスク評価が行われた材のみを調達）

※1 FM(Forest Management)認証：持続可能な森林経営が行われている森林を認証  
 ※2 CoC(Chain of Custody)認証：認証された材が適切に流通・加工されていることを認証

## 原材料調達の現状

### 日本製紙グループの紙製品の主要原材料

紙製品の主要原材料の内訳 (国内連結会社、2021年度)



※ 購入古紙パルプを含む

### 古紙の安定調達の取り組み

- 当社グループでは長年にわたり古紙業界とともに安定的な調達体制を築き上げています。
- 新聞用紙への安定した資源調達を目的とし、新聞社が回収した新聞古紙を当社が直接買い受ける「クローズド・ループ・システム」を構築し、拡大を図っています。
- 世界的な脱プラスチックの潮流に伴う紙化への進行から、使用済み食品容器など未利用の難処理古紙をリサイクルする体制を構築しています。

古紙および古紙パルプ調達量※ (2021年度)

古紙 (千t)	古紙パルプ (千t)	合計 (千t)
2,674	10	2,684

※集計対象：クレスシア春日を除く国内連結会社

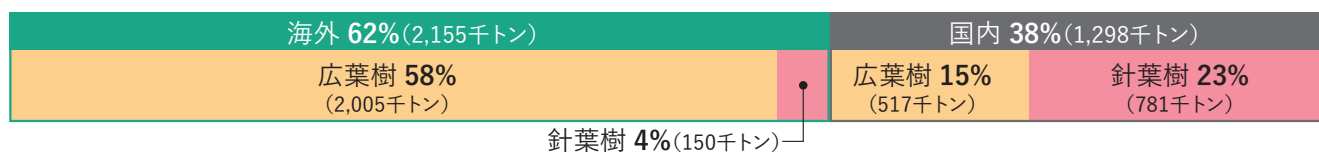
### 木質資源の安定調達の取り組み

当社では、木質原材料の大部分を木材チップ、一部をパルプとして調達しています。

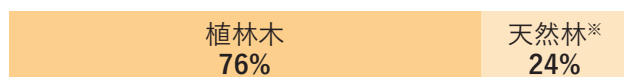
- ▶ 木材チップ：海外から約6割、国内から約4割を調達
- ▶ 海外材チップ：安定調達のため、アジアやオーストラリア、南米など世界各地から輸入

日本製紙が調達している製紙用木材チップの調達地別内訳 (2021年度)

(トン=絶乾トン)



広葉樹の資源構成 (2,522千トン)



針葉樹の資源構成 (931千トン)



※ 森林認証を取得済みもしくは二次林由来のもの、または製材廃材チップで持続可能と判断できるもの

日本製紙が調達している製紙用海外材チップの生産国および樹種 (2021年度)

広葉樹

国	構成比	樹種
ベトナム	31%	アカシア
南アフリカ	25%	アカシア、ユーカリ
オーストラリア	21%	ユーカリ
ブラジル	11%	ユーカリ、アカシア
チリ	7%	ユーカリ
タイ	5%	ユーカリ
合計	100%	

針葉樹

国	構成比	樹種
オーストラリア	86%	ラジアータパイン
ロシア	14%	エゾマツ
合計	100%	